

防災リーダー養成講座実施報告

秦野市に想定される災害に関する知識やノウハウを座学と実習を通して学びます。

第1回～第4回 講師：美澤 綾子氏

第1回 7月8日 テーマ「地形—でっぱり、ひろがり、ずれ—」

猛暑の中、定員をオーバーした33名（中学生4名・高校生2名含む）が参加して下さいました。

【講義1】地形の基礎知識

主に河川がつくる地形の名称やできる仕組みなどを学んだ。

【実習1】秦野市の地形

アナグリフによる地形観察を行い、秦野市の地形の特徴をつかんだ。

【講義2】変形した地形

断層や撓曲（とうきょく）など、市内にみられる変動地形について学んだ。

【実習2】断層モデル実験

小麦粉とココアパウダーを用いて、逆断層形成のモデル実験を行った。

【講義3】 災害に関する（体系的な）基礎知識

防災に関する（体系的な）基礎知識



断層形成



【実習2】断層モデル実験



講座受講（沢山 質問があった）



断層モデル実験

第2回 8月5日 テーマ：「水—わく、ふる、ながれる—」

地域行事などで多忙にもかかわらず、60名（中学生4名・高校生2名・ボーイスカウト6名含む）の方が参加。前回と同様、講師の方は沢山の質問に休憩時間も返上して対応して下さいました。大好評でした。

【講義1】 気象の基礎知識

低気圧や台風、大気の安定性について、特徴や仕組みを学んだ。

【講義2】 風水害とその対策

台風や豪雨、土砂災害の起こり方とその対策について学んだ。

【実習1】 防災マップの読み取り

市が作成している洪水ハザードマップで、居住地の地域性を読み取った。

【実習2】 地図の重ね合わせ

5種類の地図から情報を収集し、災害に合いやすい場所と地形の関係を確認した。

【講義3】 災害に関する（体系的な）基礎知識 、防災に関する（体系的な）基礎知識



講義受講



【実習1】 防災マップの読み取り：洪水ハザードマップで、居住地の地域性を読み取る



【実習2】 地図の重ね合わせ：5種類の地図から情報を収集し、災害に合いやすい場所と地形の関係を確認

第3回 9月2日 テーマ：「地質—たんざわ、はこね、ふじさん—」

市内で大きな行事が2つあったにも関わらず、57名（ガールスカウト8名含む）の方が参加。

定員は各回25名ですが、クチコミで参加者が、回を重ねるうちに増え、多くの方が参加して下さい、真剣に受講して下さいました。今回も大好評でした。

【実習1】地形の観察

陰影起伏図を用いて丹沢山地、箱根山、富士山周辺の地形を観察した。

【講義1】三つの山の形成史

丹沢山地、箱根山、富士山の成り立ちを学んだ。

【講義2】火山の基礎知識

火山噴出物や噴火の様式、火山の形、分布などを学んだ。

【講義3】富士山の噴火災害

富士山が噴火したときに起こると予想される災害について学んだ。

【実習2】富士山火山防災マップの読み取り

ハザードマップの読み方を学び、必要な対策を検討した。

【講義4】災害に関する（体系的な）基礎知識、防災に関する（体系的な）基礎知識



受付、資料配付をお手伝い



陰影起伏図を用いて丹沢山地、箱根山、富士山周辺の地形を観察

